

放課後学びの場 STEAM 教育講座① コンピュータサイエンス開催

10月25日(水)放課後、第二自習室において「放課後学びの場 STEAM 教育講座」の第1回が行われました。STEAMとは、SCIENCE TECHNOLOGY ENGINEERING ARTS MATHEMATICSの5つの英単語の頭文字を組み合わせた造語です。技術が進んだ現代社会、複雑化した社会を生き抜くために分野横断的な学びが求められています。このような力の育成をめざしてこの講座は今年度より始まりました。合計4講座が予定されています。

<STEAM 教育講座の目的>

- ①イノベティブなグローバル人材育成のため、最先端の科学技術に触れる機会を提供する
- ②最先端技術の内容と社会における活用について理解する
- ③将来社会においてリーダーとして活躍できる進路について考えるきっかけとする

今回はコンピュータサイエンス分野で『No AI, no life ~身近なAIに触れてみよう』

がテーマでした。東京工科大学コンピュータサイエンス学部 伏見 卓恭先生をお招きして講義していただきました。講義では身近なAI, AIの歴史から始まり、AIはすべてプログラミングによって成り立っているということから、先生自らがプログラムを書いて、AIに作業を実行させる実演もしていただきました。またAIの今後や人間との付き合い方についてもお話いただきました。

生徒からは「なぜAIの言語はpythonを使うのか？」などの質問がありました。

<講義内容>

AI技術は生活になくてはならない存在になってきました。しかし、AIはコンピュータの中であって目で見ることができないため、AIの仕組みをきちんと理解している人は多くありません。この講座では、近年のAI技術について俯瞰し、画像と文章を例にAIがデータを認識する仕組みを解説します。

数理的な仕組みの解説だけでなく、プログラミング言語による実装と実行をデモすることで、AI技術の初歩を体験します。

<AIの分野や歴史について>



<プログラムの実演1>



<プログラムの実演2>



次回は11月9日(木)に分子生物分野(ゲノム)が開催されます。